



2011.6.15
第145号

発行
福島県市町村
教育委員会
連絡会津支
北麻沼支

編集
福島県教育庁
会津教育事務所

編集協力
小・中学校長会

H23 会津の教育



会津教育事務所
所長 会田 智康

大震災の影響は、大きな被害を受けた浜通りなどとは比べられないが、会津にも様々あった。そのような中、域内の教育関係者はどのように行動したか。

被災地に単身赴任していたご主人が一週間近く安否不明の中、不安に耐えながらも仕事を続けた教員。避難所運営に、周囲が驚くようなリーダーシップを發揮した若手。ガソリン不足の中、互いに協力して出勤を続けた職場。入学式で誰が避難児童生徒か全く分からないほど、物心両面にわたる手厚い受入れをした教職員、保護者、市町村。等々。

今回の出来事の中で、日本人のモラルを評価する声が上がったが、教育関係者の使命感や心意気のすばらしさも、改めて誇りとともに伝えたい。

それでは、平成二十三年度の会津域内の教育を進めるに当たって、今後どのような視点を持って臨めばよいか。

一つは、震災対応として、安全・安心の確保と、避難児童生徒受入れをはじめとする域内に課せられた役割等の確実な遂行ということである。

今なお続く余震も含めた災害への安全対策の見直しと強化は、喫緊の課題である。環境放射線については、域内においては安全であるという基本認識のもと、

児童生徒や保護者に安心感を与えられるよう、丁寧な説明と配慮をしていきたい。また、長期的な視野に立った避難児童生徒の学校生活充実のための手立て、年度途中の人事異動実施の影響を最小限に抑える工夫、各種事業や行事の変更への適切な対応等も求められている。

もう一つは、不易の教育の目標の達成に向けて、自らを見失うことなく、これまでと同様の努力を続けていくということである。

様々な困難がある状況においても一年後をしっかりと思い描き、これまでの取組みの成果と課題を踏まえつつ、本年度の目標とそれを達成するための方策や計画を、学校として、個々の教職員として、明確に持って実践に当たりたい。

教育の目標の達成へ向けての不断の努力こそが、震災克服のために、域内教育関係者が進むべき道筋である。

平成二十三年 管理関係 重点事項

一 人事管理の適正化と学校組織の充実・活性化

○ 特色ある学校づくりにつながる人事事務の適正化

○ 少人数教育による人事配置を生かした個に応じたきめ細やかな指導の充実

○ 教職員目標管理制度の活用による意欲と資質の向上

○ 所長訪問（管理訪問）等を通しての総合的な学校経営支援

二 学校事故、不祥事未然防止

○ 児童生徒の事故防止

・ 学校の危機管理マニュアルを随時点検するなど教職員一人一人の危機管理意識を高め、実効ある取組みを行う。

○ 教職員の服務・勤務体制の確立と危機管理意識の高揚

・ 冊子「信頼される学校づくりを職場の力で」等の活用により、不祥事防止に対する当事者意識を高める。

○ 交通事故の防止

・ 速度超過や交通加害事故、酒気帯び運転を未然防止するため、安全運転への声掛けやゆとりある運転等に一層心がける。

○ わいせつ・セクハラ、体罰等不祥事の防止

・ 教育公務員としての使命感と倫理観の高揚を図るとともに、互いに何でも相談し合える職場環境づくりに努める。

○ 学校火災・盗難事故の防止

・ 校舎内外の整理整頓、校舎周辺の可燃物の撤去を徹底し、施錠確認を確実に行う。

○ 施設設備の安全管理

・ 東日本大震災及びその後の余震による被害を含め、校舎内外の危険箇所の把握に努め、安全対策を講じる。

○ 個人情報等の適正管理

・ 各種情報の管理について内規の共通理解を図り、漏洩や流出を防止する。

社会教育関係 重点事項

(学校・家庭・地域が一体となった教育の実現をめざして)

今こそ 地域の絆を!

子どもをはぐくむ地域
実践プロジェクト(会
津地域家庭教育推進プ
ロック会議)



1 地域全体で子どもたちを教育育てるために

- 地域ぐるみで子どもたちの体験活動やボランティア活動を支援します。
学校支援本部事業(北塩原村、西会津町、三島町)
- 放課後等における子どもたちの居場所づくりを支援します。
放課後子どもプラン(会津若松市、喜多方市、西会津町、会津坂下町、会津美里町、柳津町、金山町、三島町、湯川村)
- 社会教育関係者を育成し、公民館を支援します。

2 家庭における教育を支援するために

- PTAや地域代表による協議や研修をします。

**3 子どもたちの豊かな
こころをはぐくむために**

- 子どもの読書活動を推進する人材を育成します。
読書活動推進研修講座(予定日時及び会場:平成23年12月7日~9日 會津稽古堂)
- 公立図書館の利用促進(「あづま号」巡回事業)
授業や課題研究、進路の手助けとなる関連図書(約50冊)の「セット貸出」
- ※ 会津教育事務所のホームページを充実させます。
「待ち受け画面」で積極的に活用してください。

指導関係 最重点事項

◇ **子どもたちの豊かなこころの育成**

- **道徳教育の充実**
 - ・道徳教育推進教師を中心とした指導体制づくりと道徳の授業公開の推進
 - ・教材の開発と地域人材活用による道徳の授業の多様な展開
- **少人数教育によるきめ細やかな指導**
 - ・「連携」「組織的」をキーワードにした不登校出現ゼロに向けた取組みの推進
 - ・保護者や関係機関と連携した問題行動、特に暴力行為の未然防止のための組織的な取組みの推進

◇ **子どもたちの健やかな体の育成**

- **体力の向上に関する取組みの充実**
 - ・運動課題や改善策を明確にした体力づくり推進計画に基づく授業、体育的活動の充実
 - ・運動好きの子どもを育て、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培う指導の充実
- **食育の推進**
 - ・食生活の実態に基づいた食育推進計画の整備改善
 - ・食育推進コーディネーターを中心とした組織的な推進

◇ **子どもたちの生きる力を支える「確かな学力」の育成**

- **少人数教育によるきめ細やかな指導**
 - ・「少人数学級編制」と「少人数指導」の柔軟な選択と対応の推進
- **学力向上のための取組み**
 - ・思考力・判断力・表現力を育成する言語活動の充実

◇ **障がいのある子どもたちが「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進**

- **地域における支援体制の整備・充実と理解啓発の促進**
 - ・個別の教育支援計画・指導計画に基づく適切な指導と効果的な支援
 - ・児童生徒一人一人の教育的ニーズの把握と組織的な相談支援

◇ **安全で安心できる学習環境の整備促進**

- **児童生徒の安全確保**
 - ・自然災害を想定した学校安全計画の整備
 - ・児童生徒が自ら安全を守るための能力の育成(声かけ被害、交通事故防止)

8月1日人事異動実施に伴う学校運営の円滑な移行のために

1 基本的な考え方

- (1) 今年度の定期人事異動については、以下のような県教育委員会の方針を全教職員で共有して対応する。
 - 3月11日に発生した東日本大震災及びその後の原子力発電所事故への学校現場における迅速な対応や、被災した児童生徒の現状把握と心のケア等を最優先して対応するため4月1日付けでの異動実施を見送ったこと
 - 学校はもとより児童生徒への影響をできる限り少なくするために、学習活動の大きな区切りとなる夏季休業中の8月1日付けで異動を行うこと
- (2) 各学校において、8月1日人事異動の影響を具体的に想定し、1学期中から円滑な移行のための対策を実施していく。
- (3) 年度途中の人事異動について、児童生徒、保護者及び地域住民等の理解と安心を得て、信頼関係を維持していくことに最大限配慮する。

2 具体的な配慮事項等

- (1) 指導の継続性・累積性の確保
 - 日々の教育活動の実施や児童生徒・保護者等への対応については、学級担任や各担当に任せるばかりでなく、学年や学校全体で組織的に行うことについても、これまで以上に留意する。
 - 教育課程の1学期の内容を確実に実施するとともに、適切に引き継ぎを行う。引き継ぎの際は、個々の児童生徒の1学期の学習や生活の状況、家庭との連携の状況について十分に確認する。
- (2) 児童生徒・保護者への説明
 - 人事異動が8月1日付け実施になった趣旨、及び指導の継続性・累積性確保のための学校としての方策等について、丁寧に説明を行う。
 - 懇談会等での説明や文書配付により、できるだけ早期に行うようにする。

心に響く言葉「おかえりなさい」

北塩原村教育委員会教育長 佐藤 信寛



「おかえりなさい」その一言で、思わず全身がうれしさでいっぱいになりました。20年ぶりに北塩原村教育委員会の仕事をさせていただくことになって2週間、沖縄東村との交流事業で、村の受入宿舎となったY旅館を訪ねたときの出来事です。旅館の女将さんは、私の顔を見たとき、冒頭の言葉をかけてくれました。心に響く言葉でした。20年の歳月が一気に縮まり、この一言で改めて、自分の持ちうるすべての力を北塩原村のために尽くさなければと心に期した瞬間でした。

東日本大震災とその後の原発事故で、今福島県は大変な状況におかれています。震災の直接的な被害を免れた北塩原村も、農業や観光の面で原発事故による風評被害に苦しんでいます。二次避難で村内においでの方も、大勢いらっしゃいます。先を考えると誰しもが下向きがちな状況の中、どのようにすれば、教育の力で村民はじめ関係の

方々の顔が少しでも上向きになれるか、職員と考えている毎日です。考えたキーワードは、「一人一人がつながり、知恵を出し合い、力を合わせる」ことです。

本年度の重点施策である「幼小中の一貫した教育をめざす連携事業」「生涯学習出前講座」「学校支援地域本部」「村民ひとり一文化一スポーツ」等の各事業を展開するにあたり、上記のキーワードを大切にしながら実践に努めていきたいと考えています。避難されている方々には、北塩原村を理解していただき、村民とふれあう機会として、積極的に公民館事業の紹介を進めています。

私がいただいた「おかえりなさい」という言葉のように、心に響き、心がつながる言葉を職員と共に大切にしながら。

我がまちからの情報発信

柳津町教育委員会

「飯谷山 信仰の山から親しむ山へ」

「いいたにさん」と呼ばれ、山岳信仰のメッカとして有名で、古い時代から山容そのものを御神体として、そこに繁る樹木とともにこの山を神霊として、深い信仰を捧げていたところである。昨年までは9月23日にハイキングを実施していたが、通年登山への情報発信をより早くするため見直し、今年は5月8日に「第1回飯谷山山開き」として実施することとなった。

登山口から間もない所に飯谷神社があり、古来より雨乞いの願いをかなえてくれるものと信じられ、霊力をもつ聖なる山として崇められていた。

また、江戸時代には奉納相撲が盛んに行われ、今なお、野老沢芸能保存会に相撲甚句が継承され続け、イベント等で相撲踊りが披露されている。標高782mのさほど高い山ではないが、植生の変化に富み、カタクリ・コブシ・山桜・スマレ・ヤブツバキの花や、ショウジョウバカマ・イワウチワなどの高山植物の花が咲き、道行くごとに何らかの花に会える素晴らしい山である。

登山記念バッチにはヒメシャガの花が描かれており、まだ咲いていなかったが、6月には登山道に小型のアヤメに似た愛らしい花姿が見られる。

山頂付近には、みごとなブナの二次林が覆い、その中に炭焼き窯の跡がいくつもあつた。山頂までは1時間45分ほどを要し、山頂からは西側に1kmほどの眼下に、1611年の大地震によって崩壊し、大杉山地区を埋没させ誕生した白沼が見える。

飯谷山は、うつくしま百名山の一つとして知られているが、春に山開きを実施し、飯谷山の植物多様性を広く知らしめたことの成果は大きく、伝統文化や自然観察など生涯学習に結びつく素材が豊富であることも重要な発見であった。



平成23年度 会津教育事務所 経営・運営ビジョン

基本理念 《 “ふくしまの和” で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり 》

■ 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成

【子どもたちの豊かなこころの育成】

- 道徳教育の充実
- ・指導体制づくりと授業公開の推進
- ・教材の開発と地域人材活用による授業の展開
- 少人数教育によるきめ細やかな指導
- ・不登校出現ゼロに向けた組織的な取り組み
- ・関係機関との連携による問題行動の未然防止

【子どもたちの「確かな学力」の育成】

- 少人数教育によるきめ細やかな指導
- ・「少人数教級編制」と「少人数指導」の柔軟な選択と対応の推進
- 学力向上のための取組み
- ・思考力・判断力・表現力を育成する言語活動の充実

【子どもたちの健やかな体の育成】

- 体力の向上に関する取組みの充実
- ・「体力づくり推進計画」に基づく授業等の充実
- ・運動好きの子どもの育成を指導の充実
- 食育の推進
- ・実態に即した食育推進計画の整備改善
- ・学校教育活動全体での組織的な推進

【地域で共に学び、共に生きる教育】の推進】

- 地域における支援体制の整備・充実と理解啓発
- ・個別的教育支援計画・指導計画に基づく適切な指導と効果的な支援
- ・児童生徒一人一人の教育的ニーズの把握と組織的な相談支援

【望ましい勤労観・職業観の育成】

- 教育活動全体を通じたキャリア教育の推進

【高度情報社会を主体的に生きていく力の育成】

- 情報活用能力の育成

【国際化の進展に対応できる人材の育成】

- 外国語による実践的なコミュニケーション能力の育成

＜基本目標＞ 学校教育の充実に資する効果的な支援

＜方針及び具体策＞

- ① 各市町村教育委員会との一層の連携強化
 - ② 学校運営に対する総合的かつ重点的な支援
 - ③ 教職員研修の充実・強化に向けた支援
 - ④ 関係者間連携の一層の促進
 - ⑤ 震災への対応のための支援
- 【具体策 1】 市町村教育委員会訪問の計画的な実施（年2回）
- 【具体策 2】 所長・管理訪問の合同実施（市町村）、学校訪問の充実（県立）
- 【具体策 3】 各学校の要望に応じて多様な内容を工夫した指導訪問の実施
- 【具体策 4】 小・中・高等学校校長代表者会議への支援、社会教育関係事業の活用
- 【具体策 5】 避難児童生徒支援関係業務担当の設置、SCの緊急派遣等

■ 豊かな教育環境の形成

【教員の資質向上】

- 適切な教員人事管理の推進
- ・6年12年ルールによる人事交流促進
- ・教職員の実態把握と支援体制の充実
- 教員研修等の充実
- ・校内研修の充実のための積極的支援

【教員が子どもに向き合える環境の整備】

- 勤務の適正化と負担軽減
- ・勤務時間の正確な把握と校務分掌の公平化についての指導の徹底
- 教職員の心身の健康保持
- ・教職員の体調管理のための指導支援

【開かれた教育の推進】

- 学校経営能力の向上
- ・管理職の学校経営に対する指導支援
- 教職員の服務倫理の確立
- ・各種会議における具体的な事例をもとにした研修機会の設定

【安全・安心な学習環境の整備】

- 児童生徒の安全確保
- ・学校安全計画の整備改善
- ・自ら安全を守る能力の育成
- 教育相談体制の整備

■ 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現

【地域における教育の支援】

- 子どもの居場所づくりの支援
- 読書活動の推進
- リーダーやコーディネーターの育成支援

【家庭における教育の支援】

- 子育てに関する学習機会等の充実
- 情報や資料の提供によるきめ細かな支援

【生涯学習の環境整備】

- 生涯学習施設との連携による学習機会の充実

【環境教育の推進】

- 低炭素・循環型社会に対応した教育の推進

【伝統文化の保存・継承】

- 文化財保護活動への支援

各学校の経営
運営ビジョン

域内各市町村
教育委員会の
教育施策